

第 1 回次期産業戦略策定懇話会におけるご意見への対応方針

項目	ご意見	対応方針	対応の方向性
戦略全般	<p>①イノベーションも重要だが、一方で現状維持という後ろ向き見え方になるが、地域を支えているのは小規模事業者であるため、同事業者の事業を継続することも重要である。イノベーションと下支えの両輪をしなければならない。</p> <p>②新しいものを生み出すことは大事だと思うが、昔から培われてきたモノづくりの技術をもった企業は市内に多く、そのような企業を守ることも重要。</p>	<p>施策・取組に反映</p>	<p>①②ご意見のとおり、市内の中小企業・小規模事業者は地域経済の重要な担い手であり、高い技術力を有する企業も多いことから、施策【中小企業の経営支援】及び【伝統産業の自立的な成長に向けた支援】において、引き続き市内中小企業に対する経営支援や事業承継、生産性向上に向けた支援を実施します。</p>
	<p>③現戦略は、堺市の特徴や魅力、強みを活かした戦略になっている。</p> <p>④エリア戦略について現戦略で 4 年進めてきており、頻繁に変えるべきではない。</p> <p>⑤アクションプランではなく、戦略であり内容も広く網羅できている。</p> <p>⑥ビジョンの大枠は良い。</p> <p>⑦今まで手ごたえがあって受け入れられている部分があればさらに深めていくという意味で踏襲することは重要。</p>	<p>その他（素案作成の参考）</p>	<p>③④⑤⑥⑦ご意見を踏まえ、大枠は現戦略を踏襲した内容とします。</p>
DX・生産性向上	<p>①小規模事業者はデジタル化が第一歩であり DX までできていないのが現状。一方で、堺市が様々なプログラムを作っているため、何年前かよりはるかに進んでいる。</p> <p>②生産性向上は非常に重要だが、一方で生産性向上を自ら課題と認識する人が少なく、大阪産業局でも DX 支援や生産性向上に関する相談が少ない。今の仕事で精一杯と言うのが現状。そのような状況なので、企業に押しかけていくような施策も必要。</p> <p>③大学や学生、大企業の力を借りて中小・小規模事業者のデジタル化・DX を促進してほしい。</p> <p>④リスキリングや DX の事例として、各店舗が ZOOM でつなぐだけでお互いの分からないところを教えられるようになり、無料で生産性が向上したケースもあった。社会的に DX という言葉が独り歩きしているが、単純なことでも DX になることを周知したほうがよい。</p> <p>⑤企業内で DX 人材を育成することが難しいのであれば、潜在層や女性など働いて</p>	<p>施策・取組に反映</p>	<p>①ご意見のとおり、小規模事業者において DX の前段であるデジタル化への支援は重要であると考えています。引き続きデジタル化への投資に対する補助のほか、デジタル化による営業力強化や業務効率化に対する支援を実施しています。</p> <p>②ご意見のとおり、企業が DX の必要性を認識していただくことが重要であり、R5 から堺 DX 診断の実施により、プッシュ型で市内企業へ DX の重要性の周知やデジタル化への第一歩の取組の促進を実施してきました。引き続き、産業 DX 支援センターを中心にプッシュ型の支援を実施します。</p> <p>③現在、堺 DX 推進ラボにおいて、支援機関や IT 企業、大学等の教育機関と連携して地域ぐるみで市内企業の DX を支援しており、引き続き取組を進めてまいります。</p> <p>④これまでも堺市産業振興センターにおいて、DX 事例集等を用いて周</p>

	<p>いない人を DX 人材に育成するような仕組みを自治体が整え、必要とする企業に送り出すような取組があればよい。</p> <p>⑥サービス産業の生産性向上が進んでいないとの結果があったが、サービス産業の生産性は見えにくく分かりづらい。何をすれば生産性が向上されるかなどもう少し分析が必要。</p>	<p>知を実施してきました。引き続き、施策【中小企業の経営支援】において、情報発信に努めます。</p> <p>⑤令和 7 年度から求職者のデジタルスキル向上に向けたリスキリング支援の講座を実施しています。なお、同講座は「さかい JOB ステーション」や「キャリアナビさかい」等の既存の事業と連携して実施し、受講者に対して市内企業への就職支援を一体的に行っています。引き続き、施策【デジタルスキル等のリスキリング支援】において、DX 人材の育成に取り組めます。</p> <p>⑥サービス業の生産性向上については、他の業種と同様、DX の推進が有効と考えており、全業種対応による DX 支援に取り組んでいます。また、これまでのサービス業支援で得られた事例や成果をカタログや事例集にまとめ周知することで横展開を図っています。引き続き、サービス業を含めた企業支援のノウハウを蓄積することで、より効果的な支援につなげます。</p>
<p>さかしたる・ 企業の情 報発信</p>	<p>①「さかしたる」は情報発信のポータルサイトではなく、企業リストのような使い道になっている。情報発信は会社の肌感が大事であり、インタビュー等により想いを発信することが大事。</p> <p>②企業の情報発信を支援するのであれば人材採用など企業に分かりやすいメリットを提示することが必要。多少の効果では、企業に登録してもらえない。市内企業の課題である人材の確保に対しメリットがあれば登録数は増える。それ以外には助成金の申請にあたり、「さかしたる」の登録を要件にすることも考えられる。このほかに市側が AI 等を活用し、企業の登録を支援することもできる。</p> <p>③目的をもう一度見直す時期に来ている。元はホームページを持たない企業に向けて作っており、それは前進した一方、リストになっているだけでは世の中に様々な媒体がある中で、検索してもらえない。学生向けやビジネスマッチングなど対象を特化することも方法の 1 つ。商工会議所の「ビジネスモール」のような活用も効果的である。</p> <p>④社会的に意義のあることをしている企業や昔からの伝統を大切にしている企業の</p>	<p>要検討・課題あり</p> <p>①②③④ご意見のとおり、企業情報を効果的に発信するために見直しが必要であると考えています。なお、「さかしたる」はシステム上の制約があることに加え、出典元である経済産業省の「gBizINFO」においてシステム改修予定しており、改修後の仕様が不透明であることから、今後の運用も含め検討が必要であると考えています。</p>

	良いところが市民等に知られていないことは課題の1つ。		
販路開拓	国内市場が成熟し、かつ人口が減っており、その中で市内の優れた産業力・技術力を活かすためには国内だけでなく海外市場も視野に入れた販路拡大を進めていくことが重要。中小・小企業事業者は厳しいかもしれないが、海外への販路拡大は持続的な成長発展や競争力強化にもつながり堺市のブランド力向上にも寄与する。	施策・取組に反映	ご意見のとおり、企業の持続的発展や競争力強化を図るためには、国内だけでなく海外市場も視野に入れた販路拡大は重要と考えています。引き続き、施策【新市場・販路開拓の支援】において、JETRO等の関係機関と連携し、中小企業をはじめとする市内企業の海外市場への販路開拓を支援します。
企業の投資促進	堺市では製造業が社会の中で重要である一方、低・未利用地が少なく、新しい企業を誘致できる土地が少ない。地味だが今ある工場をいかに引き留めるか、流出しないことが重要であり、その上で新たに投資してもらうことが必要。	施策・取組に反映	ご意見のとおり、低・未利用地が限られる中において市内企業の流出を防ぐためにも、施策【競争力強化に向けた企業投資の促進】において、既存事業所内での競争力強化につながる取組や高付加価値型産業への転換をさらに支援します。
脱炭素経営	①重要なのは教育の視点。時間はかかるが、地域・企業における脱炭素経営等の社会貢献が当たり前になるような教育が必要。 ②助成金などの審査基準に脱炭素の項目を加えることが有効。	要検討・課題あり	①ご意見のとおりだと考えます。脱炭素経営の考えが広く浸透するよう、関連部局と連携し効果的な取組を検討します。 ②ご意見のとおり、助成金等の審査基準に脱炭素の項目の追加することで取組を促すきっかけになりうる一方、助成金を申請する際のハードルが高くなり申請を躊躇する懸念があることから、助成金の本来の趣旨や目的を踏まえ項目追加の可能性について検討します。
商店街	①商店街の環境や世の中のニーズは大きく変わっており、購買行動も変化しているため、商店街の位置づけも変わっていかねばならない。一方で、古くからの商売人も多いため、その人たちの意見も聞いた上で地域コミュニティを形成することが重要。 ②商店街は衰退傾向にあるが、アクセスしやすく、かつ地域住民の認知度もあるため、起業家の取組や新人育成のほか大企業と市民の共創などによりイノベーションが生まれるのではないかと。 ③シェアキッチンなどの取組を進めてはどうか。大学生など次代を担う人が1日商売を経験できる場の創出が重要。空き家などを活用することも有効。淡路島ではパソナが使用していたコンテナを活用した賑わい創出などの事例もある。そのような取組に	施策・取組に反映	①②③これまでも商店街に対し、遊休不動産を活用したシェアオフィス整備事業による創業者向けオフィス機能の導入や、空き店舗にチャレンジショップとしてお土産館を運営する事業を支援しました。ご意見も踏まえ、施策【商店街の活性化】において、地域の住民やコミュニティが期待する多様なニーズに応える場として「生活を支える街」へと変革しようとする取組を支援します。

	よりサービス産業を伸ばすこともできる。		
伝統産業	<p>①今はストーリーがないと物が売れないと言われており、価格は転嫁していかなければやっていけないような時代の中で、ストーリーは価値・値段に対する説得力になる。</p> <p>②海外進出の観点において、堺の伝統産業である茶道や刃物は人気で注目されている。関西空港に近いなどの地の利を生かしたインバウンド向けの企業が増えればよい。</p>	施策・取組に反映	<p>①施策【伝統産業のブランド化推進等】に反映されており、伝統産業において、堺キッチンの公式サイト等で各産業の歴史や認定事業者の取組等のストーリーを配信しています。ご意見を踏まえ、引き続き、ストーリーを訴求する取組を推進します。</p> <p>②堺伝匠館や周辺の刃物事業者へは多くのインバウンド客が来店しています。また、海外進出の観点においては、BtoB として輸出している事業者もあります。ご意見を踏まえ、堺伝匠館においては関西空港に近いなどの地の利を生かしたプロモーションを推進してまいります。</p>
	<p>③海外進出の観点において、世界中に EC サイトで送っていく企業が増えればよい。</p> <p>④伝統産業である刃物について、市民座談会等を開いて刃物以外にも商品開発するような機会は作れないか。刃物から転じた商品が開発され全世界で使われるなどの仕組みができないか。</p> <p>⑤東大阪ではギャルママ商品開発部というプロジェクトがあり、その堺市版のようなものもよいのではないか。</p>	要検討・課題あり	<p>③個社での EC サイト販売は保険や送料のコスト面等の課題があると考えています。</p> <p>④⑤事業者ニーズ等も踏まえ、今後の取組の中で必要に応じて検討します。</p>
イノベーション・スタートアップ	<p>①起業・創業について、よりハードルを下げるのが重要。起業・創業はハードルが高いイメージがある。例えば、「日本一速く起業できる市」など若い人が理解しやすくインパクトがある取組が必要。</p> <p>②起業家を育てるアントレプレナーシップ教育の現場では、起業家に会ったことがある人のほうが起業率が高いというデータがアメリカで出ている。身の回りに起業家がたくさんいればマインドが醸成されてイノベーションにつながっていくと感じている。</p> <p>③地域振興ではシビックプライドが非常に重要視されており、地元のために働く、地元のために産業を興すなどにつながっていく。堺には素晴らしい企業があるということを知ってもらってシビックプライドが醸成されひいては産業振興につながっていく。</p> <p>④4, 5年前からオープンファクトリーを行っている。地域のこどもや小学生、中学生など若いうちから堺市の良さを醸成することで学生・社会人になっても地元愛を持つよう</p>	施策・取組に反映	<p>①これまでも、施策【中百舌鳥の交流拠点機能の強化】において、起業前及び起業間もない時期の事業者に対して幅広い支援を実施しておりますが、起業・創業のハードルを下げるのが重要とのご意見も踏まえ、取組内容が分かりやすい周知を進めています。</p> <p>②現在、アントレプレナーシップ教育プログラム等により未来のイノベーション創出を担う若者に対する取組を実施しています。引き続き、施策【未来に向けたイノベティブ人材の育成】において、先輩起業家との交流も含め、取組を進めます。</p> <p>③④これまでも、施策【未来に向けたイノベティブ人材の育成】において、オシゴト体験イベントや S-Cube オープンファクトリーを実施しており、これらの取組はアントレプレナーシップマインドはもとより、シビックプライドの</p>

	な工夫が必要。		醸成にもつながると考えます。
	<p>⑤商店街の衰退や高齢化が泉北ニュータウンでも課題となっている。一方で、これらの地域は用地が余っており、家賃も安く、新規創業や新しいサービスを始めるにあたってチャンスになる。</p> <p>⑥イノベーションを創出するには多くの起業家を創出することが必要であり、量が生まれないと質は生まれない。予算の都合もあるが、起業した人に助成金を支給することも増える要因となり得る。</p>	要検討・課題あり	<p>⑤ご意見を踏まえ、泉北ニュータウンを所管している部署とも情報共有し、今後の施策立案の参考とさせていただきます。</p> <p>⑥起業とイノベーションの結びつきは重要であると認識しています。一方、起業すれば助成金が受けられる制度とした場合、本来起業に向いていない方にまで起業を促す可能性があり、結果として起業そのものが目的化してしまう恐れがあるため、助成金に頼らない手法での支援を進めたいと考えています。</p>
	⑦起業家にとって心や体を鍛えることも重要。近年、SNSでの批判など起業家にとって厳しい環境にある。起業家をサポートする観点から、身体を鍛える施設やメンタルを整える施設などがあってもよい。	対応困難	⑦起業家のメンタルヘルスのケアは重要な観点であると認識しておりますが、別途施設を設置することは難しいと考えています。S-Cube では、悩み相談などを含めて気軽に交流することが出来る拠点 Cha-shitsu や、起業家同士の交流イベントも定期的を開催しており、これらの取組等を通じ起業家を多面的にサポートしてまいります。
大学・学生との連携	<p>①大阪公立大学では 2027 年に中百舌鳥キャンパスに高専が移転してくる。高専の学生は地元に残る可能性が高い。大学に比べると高専のほうが連携に対してハードルが低いということもあり、イノベーションや人材確保という観点から地域にとって大きい出来事であり期待したい。</p> <p>②支援機関同士の連携が重要と言われているが、形だけ連携しても中身が伴っていないと意味がない。意味のある連携とは、顔見知りになり一緒に何かに取り組むことでお互いを知り、この人と働きたいと思うことが重要。顔が見える関係性を大学と企業で作ってほしい。</p> <p>③大学生は企業と何かをしてみたい、社会で自分の力を試してみたい人が多いが機会がなく、全く関係のないアルバイトをしている。そのような学生と企業がマッチングできるような仕組みがあればよい。社会の中でお互いに助け合い、その中で企業を知ってもらうきっかけにもなる。</p>	施策・取組に反映	<p>①現在、「さかい JOB ステーション」において、高専に限らず企業の採用ニーズが高い若年求職者への支援を行っています。また、ご意見のとおり、2027 年の中百舌鳥キャンパスへの高専の移転は本市産業面でのメリットが大きいと考えています。今後、施策【多様な人材への就職支援・企業への人材確保支援】において、大学等との連携を強化することで、より一層、市内企業への就職や定着を支援します。</p> <p>②施策【エコシステムネットワークの構築】に反映されており、支援機関・大学等と連携して各種イベントを開催しています。</p> <p>③④⑤⑥既存の取組として、「地域人材育成事業協議会」において、堺市内企業と大学生の交流会を実施しており、今後「さかい JOB ステーション」による大学等との連携強化を予定しています。また、中百舌鳥イノベーション創出拠点では学生向けのイベントや起業プログラムなど社</p>

	<p>④企業がチームを作ってインターンシップを受け入れるような取組をしている地域もあり、大学生と企業の距離を近づけるような取組があればよい。</p> <p>⑤学生は自身が運営側に回ると途端にやる気を出す特徴がある。企業のイベント等に学生を配置して企画段階から入ってもらうことで、手伝ってもらえるだけでなく会社のことを知ってもらうきっかけとなるため効果的だった事例もある。</p> <p>⑥学生と社会との関わりは学生の育成にとって非常に重要。社会に出て産業を支える人材を育てるためには学生と企業との連携が非常に大きなテーマである。</p>		<p>会と関わる取組を実施しています。これらの取組は学生にとって貴重な経験であり、引き続き、施策【多様な人材への就職支援・企業への人材確保支援】及び【中百舌鳥の交流拠点機能の強化】において、企業・学生・大学とも連携した取組を進めます。</p>
	<p>⑦学生に対するインターンシップ制度があるが、日本の場合1～2週間の体験だけであるため、半年～1年間ぐらいの制度を構築できればよい。</p>	<p>対応困難</p>	<p>⑦インターンシップは、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の合意による「インターンシップの推進に当たっての基本的考え方」（3省合意）により、大学生等のキャリア形成支援に係る取組を類型化していることなどから、本市独自の取組は難しいと考えています。</p>
<p>人材確保・育成</p>	<p>①人口減少・高齢化で人手不足が取り上げられており、早急な対応が必要。商工会議所においても対策に取り組んでいるものの大企業に人材が流れている。中小企業や小規模事業者には厳しい現状。</p> <p>②人材確保・育成の観点でリスクリング等が挙げられているが、事業規模が小さいほど時間や費用面で難しい。</p> <p>③堺市は潜在求職者が多く、人手不足につながっている。</p> <p>④求職者の大半は事務職を求めており、製造業や福祉などはかなり不足している。しかし、企業の方との対話や視察をすることで、働きやすいのであれば事務職でなくともよいと考えが変わる人も多い。</p> <p>⑤就職相談会を行っており、モノづくり企業の求人は多いが学生が求めるのは事務系が多い。</p> <p>⑥人材不足に関して、女性人材の対応だけでは解決できない。</p> <p>⑦社外留学などが有効である。具体的にはアドバイザーなど顧問派遣の取組を行ってはどうか。民間では既に行っているが、中間マージンが高額である。公的機関が間に入ることで派遣料を安くすることにより、シニア層の雇用の創出と、企業の成長支</p>	<p>施策・取組に反映</p>	<p>①現在、中小企業等の人材確保の支援として、「さかいJOBステーション」を中心とした就職支援や、市主催の人材確保に向けた様々なセミナーを開催しています。引き続き、施策【多様な人材への就職支援・企業への人材確保支援】や【企業のダイバーシティ経営の推進】を通じた取組を進めます。</p> <p>②施策【デジタルスキル等のリスクリング支援】に記載のとおり、令和7年度から、求職者のデジタルスキル向上に向けたリスクリングの支援を実施し市内企業への就職を促進します。</p> <p>③「さかい女性の就職応援プロジェクト」として、潜在求職者に焦点を当てた求職意欲の醸成を図る取組を実施しており、施策【女性の就職支援】に反映しています。</p> <p>④⑤令和6年度から「キャリアナビさかい」において、就職・転職に向けて、企業と求職者の希望職種等のギャップを埋めるためのカウンセリング等を実施しています。引き続き、施策【適性やスキルに応じた転職支援】を通じた取組により、企業と求職者の希望職種等のギャップ解消に努めます。</p>

<p>援にも有効である。</p> <p>⑧副業に関しても、民間では増えてきており、市が促進することも重要。市が顧問派遣者を認定することで、顧問派遣者は市認定の肩書・信用の担保が得られ、その後の業務にも活かすことができる。</p> <p>⑨大企業では副業が認められてきており、自分の力を試したい人が増えている。そのような人の力を借りて中小・小規模事業者を支援することも手段の1つ。</p> <p>⑩アンケートでは給与より働きやすさを求める人が多いことから、賃金は上げられないが、人材が欲しいと思っている中小企業こそ、制度よりも風土の魅力をアピールすることで人材が確保できる。</p>			<p>⑥「さかいJOBステーション」では若者等の、「ジョブシップさかい」では、就職困難者等の個別支援等を行っています。その他、障害者やシニア、外国人の就職・採用等に向けたセミナーや面接会の開催など行い、多様な人材の就職・企業の人材確保支援をしています。加えて、リスキリング支援等により人材育成を行うことで、企業の人材不足解消を支援しています。</p> <p>⑦⑧⑨副業に関しては制度設計や運用方法等が複雑であるため、市で取り組むことは難しいと考えています。なお、顧問派遣に関しては、施策【中小企業の経営支援】において、個社の経営課題に対して専門家派遣等の支援を実施しています。</p> <p>⑩「さかい JOB ステーション」では、企業と求職者の交流会等、求人票の情報だけでは伝わらない企業の雰囲気や求職者に伝える取組を実施しています。施策【多様な人材への就職支援・企業への人材確保支援】や【企業のダイバーシティ経営の推進】を通じ、企業と求職者の交流の促進や、多様な人材が働きやすい環境整備を後押しします。</p>
<p>⑪勤務地への交通の便なども重要であり、仕組みづくりができれば潜在層の活躍の場が見えてくるのではないかと。住む場所と働く場所などエリア同士の連携ができれば共創にもつながる。</p> <p>⑫人材確保のために市が奨学金を一部負担する取組を他市では行っている。企業が負担するのはハードルが高い。また、給料の差よりも奨学金の無償化のほうが分かりやすい。</p>	<p>⑪勤務地への交通の便なども重要であり、仕組みづくりができれば潜在層の活躍の場が見えてくるのではないかと。住む場所と働く場所などエリア同士の連携ができれば共創にもつながる。</p> <p>⑫人材確保のために市が奨学金を一部負担する取組を他市では行っている。企業が負担するのはハードルが高い。また、給料の差よりも奨学金の無償化のほうが分かりやすい。</p>	<p>その他（関係部署と情報共有）</p>	<p>⑪令和6年5月に策定した「堺市地域公共交通計画」において、拠点間の公共交通ネットワークの強化等を定めています。引き続き関係部署と情報共有に努めます。</p> <p>⑫教育委員会事務局において給付型奨学金を実施しています。なお、市内企業が活用できる奨学金返還支援制度としては、大阪府が令和5年度から実施している「奨学金返還支援制度導入促進事業」があり、本事業の広報・周知に努めています。</p>